

第6回 向日市環境基本計画策定委員会

会議録（要約）

開催日時 令和4年10月14日（金）14時00分～16時00分

開催場所 向日市役所別館 第10会議室

出席者 (12名)

三輪 信哉	大阪学院大学国際学部 教授	委員長
岩渕 善美	平安女学院大学国際観光学部 教授	副委員長
永安 正洋	日本電産株式会社 IR・CSR推進部長	
宇津崎 則子	向日市商工会 女性部長	
稲本 收一	向日市観光協会会長	
藤原 京子	市民公募	
長谷川 みゆき	市民公募	
西川 也寸志	向日市区長会会長	
木原 浩貴	京都府地球温暖化防止活動推進センター 副センター長	
太田 敦士	京都大学大学院農学研究科・技術職員	
小林 哲	京都府乙訓保健所技術次長兼環境衛生課長	
林 千香	向日市環境経済部長	

欠席者 (2名)

奥田 豊	イオンモール株式会社
	イオンモール京都桂川 オペレーションマネージャー
村上 裕子	第3向陽小学校校長

事務局 (5名)

長谷川 和代	向日市環境経済部副部長(兼)税務課長
木村 正義	向日市環境経済部主席課長(兼)環境政策課長
横山 由美子	向日市環境経済部環境政策課主幹(兼)環境対策係長
天野 友則	向日市環境経済部環境政策課環境衛生係長
森 洋市	(株)サンワコン 環境技術部

次 第

1. 開会

2. 議事

- 1) 第3次向日市環境基本計画（案）について（第1章～第6章）
- 2) 資料編について
- 3) 概要版について

3. その他

4. 閉会

〔配布資料〕

資料1 第3次向日市環境基本計画（案）

資料2 計画資料編

資料3 概要版

参考資料1 向日市第3次向日市環境基本計画（含 地球温暖化対策実行計画

〔区域施策編〕）（案）に関する意見公募（パブリックコメント）の結果について

1. 開会

事務局

(議事進め方、欠席委員報告等 省略)

委員長あいさつ

(省略)

事務局

(資料確認、公開等傍聴等 省略)

2. 議事

1) 第3次向日市環境基本計画(案)について(第1章～第6章)

委員長

議事に入らせていただく。お手元に議事次第があると思うが、それに従って順次進めていく。まず議事1の第3次向日市環境基本計画(案)について事務局から説明をお願いします。

事務局

(資料説明)

委員長

ただいまの説明は、1点は前回の会議で求められた修正点に対する修正事項、それから1ヶ月かけて行われたパブコメに対する修正事項と、2つの角度から修正をいただいたが、そのことも含めて気づいた点や意見はあるか。

委員

本編39ページの温暖化の数値指標目標のところだが、太陽光発電の数と公共施設のLED照明利用率、この2点だけでは少ないため10項目に増やしてもらったが、市民の方が概要版を見て、太陽光発電の数や数値目標がどういう関係にあるかわかりにくいと思う。太陽光発電の目標1,800件と、次世代自動車普及台数の目標12,600台、これらが同じレベルのものではないと思うし、数値目標の新しい10項目と目標管理項目46%削減、ほかの2点の項目とどういう関係にあるのかわかりにくい。

委員長

今の発言について、例えば38、39ページに管理項目、それから39ページには数値指標項目と挙がっているが、これらの関係がわかりにくいということか。

委員

特にもう1点、概要版の46%目標値がここに入るのが変だと思った。やはり46%削減が大きくあって、そのためにどうするかということだと思う。

事務局

事務局としては、まずは計画案ということでご提示させてもらっている。前回の策定委員会の中で、これが実行計画とするならば、管理項目が必要ではないかという発言があった。最初資料編の中に入れていたが、分かりづらいという意見があったので、わかりやすくするために現状の位置となった。ただ、リード文のところでは先ほどおっしゃった 46%に関するつながりが分かりづらいということだったので、ここについては今後の状況を踏まえて対応していきたいと思う。

委員

私が理解不足だが、目標管理項目と数値指標目標では、目標管理項目が重要ということか。これは絶対達成しなくてはならなくて、数値指標項目はできたらでよいのか、それとも絶対やらなくてはならないのか。

委員長

実効性について、いかがか。

事務局

あくまで目標のため、どちらも同じように大切な目標だと考えている。

委員長

他に意見はあるか。

副委員長

概要版 3 ページの温室効果ガスの排出削減目標のところだが、戸建てのところと一緒に表になっていて分かりづらいので、46%の削減目標だけを独立して書くとよい。現状値がそれぞれ違うので 2013 年というところも書いていないし、2020 年度 2021 年度それぞれ現状値も違うので、概要版のほうは書くスペースが少ないと思うが、少し工夫して書いたほうが、初めて見た方にとっても分かりやすくなると思う。39 ページの本文と 3 ページの概要版、どちらかがタイプミスしていると思うので、確認いただければ。

委員長

事務局いかがか。

事務局

ごみの排出量については、正しくは 13,130 トンが正しい数値となるので、修正をお願いする。

委員

まずはパブリックコメントに 4 名の方から 21 件いずれも、こうしたらもっと良くなるのではないかという非常に建設的な提案をされていることに関して、パブリックコメントを寄せてくださった方に心からの感謝と敬意を表したい。ほかの審議会に出ているとパブリックコメントはなかったとか 1 件だったとかある中で、これだけたくさんの意見が出ていて本当に素敵なことだと思う。ぜひ委員からもこういうコメントがあったというのを議事録に残して

いただけるとありがたい。中身に関して私も同じく、概要版の 3 ページのところだが、目標管理項目と数値指標目標がどう違うのかわかりにくいのをうまく整理していただけるとありがたいと思う。もう 1 点は今後の提案ということだが、この地球温暖化対策の指標で、果たしてこれを管理していくことで気候変動対策がどれくらい進んでいるかということを実際に把握できるのか少し疑問が残る。かといって、太陽光発電の設置数などは何とか統計から持ってこられるだろうが、それをどうやって把握するのかは難しいと思う。そこで1つ提案で、採用するかどうかはお任せするが、グーグルフォームといった無料のものでインターネット調査を行い、QR コードを読み込んですぐに答えられるようなもので、例えばあなたのご自宅のリビングはペアガラスになっているか、リビングの照明は LED か、電力は再生可能エネルギーのものなのかそうではないのか、あとは意識のところではゼロカーボンにしないと温暖化が止まらないという認知度がどれくらいあるのかという項目をゼロ予算で行うとよい。それだったら集計も自動でできるので、そのようにしてデータを集めておいて、次見直しの時に指標として盛り込むことができないかという提案である。事例としては与謝野町で同様のインターネット調査を行い、私もお手伝いしたことがある。予算のかからない進捗管理の方法としての提案である。

委員長

非常にありがたい提案である。お金がかからないことが非常に魅力的である。私も同じ意見である。かなり専門的に知識の深い方がお答えくださったのだろう。立派な質問がたくさん来ている。非常に小さな話で恐縮だが、41 ページのところではブルーの字で公共下水道雨水貯留施設と書いていただいたが、勉強不足で申し訳ないが、本市は公共下水道だけでよいか。流域下水道などはどうなっているのか。

事務局

向日市では桂川右岸流域下水道という府が組織している団体があって、そちらで広域的に下水を流しているという状況ですので、流域下水道でも通じるし、公共下水道でも通じるという形になっている。

委員長

了解した。ほかにあるか。アンケートの取り方の件についてはしっかりと明記していただければと思う。続いて資料 2 の資料編について事務局から説明をお願いする。

2) 資料編について

事務局

(資料説明)

委員長

ありがとう。資料 2 の資料編について何か意見等あるか。

委員

資料 27 ページの EV 車のところで、EV 電気自動車は結構だが、ハイブリッドや FCV が含まれるのは日本の定義ではそうなっているが、一方で EU はハイブリッド車も 2035 年に販売禁止

という話にして、電気自動車と明確に分けている。アメリカのカリフォルニア州ニューヨーク州も PHV は一部 OK だがハイブリッドはダメだとか、かなり世界的には区分けが進んでいる。EV 車、こういう定義でいいのかご確認だけお願いしたいということが 1 点。もう 1 点が資料 30 ページの用語の脱炭素社会のところ、これもひよっとすればどこかの政府発表の引用かもしれないので強くは言えないのだが、脱炭素社会は排出実質ゼロを目指す社会のことではなく、排出を実質上ゼロを実現した社会のことを呼んだほうがいいのではないかと考えた。

委員長

これについてはまたご確認いただくということによろしいか。ほかはいかがか。

副委員長

1 つありまして、この資料編と本文は最終的には一緒に印刷されるものなのか、あるいは個別に配布されるものなのか、教えていただきたい。

事務局

基本的に配布という形ではなくて、データ上でホームページなどに挙げさせていただく。前回の時に概要版だけでも配布したらどうかという意見をいただいたが、現在のところはホームページや広報といったものを使って皆さんに広めていきたいと思っている。

副委員長

なぜかという用語集が別になっているので、本編の最後であれば、ほぼつながると思った。配布というのは印刷ではなくてホームページにある時でも一緒なのか、あるいは個別なのか、同時に並べたら見つけられるか、あるいはどこかに書けばわかるかと思った。

委員長

最近行政の PDF を見ていると全部一括している全編や、分冊というものがあるのだが、分冊の時に本編から離れて読みづらいということにならないように、1 つ工夫をしていただくということによろしいか。ほかはいかがか。

委員

今のことに関連して、冊子はもう作らないということになるのか。私たちがいただけるのもすべてデータのみになるのか。

事務局

委員の皆様については、冊子を配りたいと考えている。

委員

資料を配布しないということだが、このアンケート調査結果で新向日市環境基本計画があることを知らないという声が 76.3%で、ほとんどの人が誰も知らない。それをこれからの 10 年間で達成していこうというときに、このような状態では無理ではないか、市民の意識レベルは上がらないのではないかと考えている。この委員会に私たちが参加させていただいた 1 年以上前は、同じように直前に資料をいただいて、このようなものがあったのかという感じで、本当に何も知らない状態でここに来ていた。その前の第 2 次の 10 年間の計画と実施が、実際

にどのように行われてきたかということも知らないままスタートしてしまって、これからの10年間の計画について、どこで誰がどのように検証して目的にたどり着けるのかすごく不安だった。自分自身を振り返った時に何も知らなかったというのがあるので、ホームページに載せるだけでは興味がある人しか手を伸ばさないと思う。インターネットを使わない家庭もあるし、それでは難しいのではないかと感じた。

委員長

以上に対して事務局としてはいかがか。

事務局

申し訳ございません。ここについても第5回でお答えさせていただいた通りです。現在のところはそういった考え方を持っているということでご了承ください。ただ、今後においては広報の仕方について考えていく。

委員長

よろしいか。パブコメの18番のご質問に対して事務局が答えた部分が少しヒントになると思う。概要版を作成して広報活動を進めていくということと、ホームページに掲載してそれから市広報等の媒体を活用して積極的に行うという姿勢を示して、回答をしていると思う。しかし、やはりこれらを読み込むのはとても大変なことだ。逆にその関心を持ってもらうために計画を読みやすく、見やすく、分かりやすい形で、例えば連続で1年間コラムの形で情報を流し続けると市民の皆様に理解が広がっていくと思う。みなさんが危惧されている部分は、重々行政に知っていただいて、情報発信で工夫してほしい。

委員

今の広報に関してだが、予算を使わないためにデータで挙げるのはそうだと思うが、今環境に対して取り組んでいる団体、例えば環境ネットワーク会議や桜並木の会などが向日市内にはあり、そういったところには新しい冊子を届けたり、市内で活動しているキーパーソンにはぜひ渡してほしいと思う。勝山中学校に理科クラブもあるし、そういう生徒たちはおそらく興味があると思う。もう1点だが、資料編のアンケートの結果について、資料の14ページに環境計画や環境像を知っているかという問いがあって、1番で計画も環境像も知っているのが3.2%だが、パッと見ただけではわからないので、円グラフのところに数値だけでなく、知っている、知らないなど少し書いてもらえたら分かりやすい。左の選択肢を見て目で追う作業がなくなるので、円グラフを見てパッとそこに該当する選択肢が載っていると分かりやすいと思った。

委員長

やはりポイントを絞って紙で配布していただければという意見である。図書館には冊子は置かれるのかどうかということも気になった。それから2点目は資料の中で円グラフの表記の仕方をもう少し工夫していただくという意見である。事務局いかがか。

事務局

配布については先ほどから同じ言葉になるが、ご意見を参考にさせていただきながら行っていきたいと思う。グラフについては図の大きさの関係で大変細くなるため、左の表と右

の図を見比べるとという見方をお願いできないか。

委員

資料 14 ページのグラフと表だが、グラフの内容をそのまま書いているだけで、基本的にはこのグラフがなくても意味が伝わってしまう状態である。だから表を 1 つにするかグラフにすべての表の中身を変えてしまうなどしたほうが良い。

委員長

円グラフとそのデータが重複して示されている。事務局いかがか。

事務局

事務局としては色や数字で見た感覚でこんなにも多い少ないということが、円グラフにすることによってイメージが付きやすいと思う。それを加味して作っている。

委員長

強いて言うと例えば資料 15 ページの上の横棒グラフも、数字だけではなかなか掴みにくいが、長い短い視覚的にはっきりすることもあるので図も併用ということでもよろしいか。他はよろしいか。続いては資料 3、概要版について事務局から説明をお願いします。

3) 概要版について

事務局

(資料説明)

委員長

ありがとう。この概要版についていかがか。一番市民の目に触れると思うが。

委員

6 ページのところでは基本目標 4 の目標・管理項目の環境保全に取り組む企業や団体との連携とあり、現状 3 団体、目標 10 団体とあるが、どのようなところを想定して 10 団体となっているのか。その下の 4-2 環境教育・環境学習を推進するところで小中学校におけるものと、地域、家庭、職場におけるものと分かれているが、例えば小中学校で開催される勉強会に大人が参加できないだろうかと思った。子どもたちは実際にどのようなのか見てみたいということもあるし、一緒になって考えていくことができればよいと思った。

委員長

市民講座の開催数が年 4 回以上という設定の根拠はいかがか。

事務局

向日市ではゴーヤの苗を渡すグリーンカーテンの講座や、牛乳パックで太陽光発電するキットで主に子供向けの市民講座を開催している。年 4 回と目標にさせてもらっているのは、春休みや夏休みを狙って今後も子供に対して教育や講座をしていきたいと考えているので、4 回としている。もう一つが、企業や団体との連携ですが、今のところイオンモール、サントリー、郵便局と協定を結んでいる。直近では郵便局と包括協定を結び、環境面では例えば郵

便配達途中で不法なごみが放置されていたら配達員が私共に知らせていただけるというような連携である。サントリーについてはボトル to ボトル、ペットボトルはペットボトルにリサイクルする水平リサイクルの協定を結んだ。イオンモールについては夏の暑いときに来店してもらって、環境の良いところで過ごしてもらおうクールシェアの協定であり、企業と連携しながら環境保全に取り組むことが目標である。10 団体はハードルが高いかもしれないが、今後も引き続きやっていきたい。

委員

例えば木原委員の所属されている団体や専門的な団体との連携は考えられるか。

事務局

実は先ほど申した市民講座の 1 つは木原委員のところにお世話になっていて、太陽光パネルを牛乳パックに取り付けて下の電気が光るのを子どもたちに勉強してもらっている。こういったことも今後もやっていきたい。

委員長

そのあたりの広報もしていくことが環境意識を高めることにつながると思う。ほかにかがが。

委員

子ども相手にそういう講座をやっているのは私も広報で見たことがあるが、実際この企画の人気はどうか。募集がいっぱいなど、子どもの食いつきを教えていただきたい。

事務局

夏休みの講座がとても好評である。受付開始後 1~2 日で予約が埋まっている。

委員

概要版のほうが市民の方が目にする機会が多いと思うので、見やすくできたらと思う。3 ページが気候変動の対策目標 1 で、4 ページがゼロカーボンシティの実現になっているが、逆にできないかと思った。そうするとゼロカーボンシティへと開いたら基本目標 1, 2, 3, 4 でつながるので、そのほうが見やすいと思ったがいかがか。あとできれば見開きで基本目標 4 まで載せられたら分かりやすいと思った。分量が難しいなら仕方ないが、少し工夫できないか。あと 3 ページの基本目標 1、関連する SDGs ゴールと目標管理項目のカッコの言葉をごそっと削除できるところもあると思った。例えば一番下の施策の方針及び基本施策のカッコの言葉をなくして、下の表に施策の方針基本施策とあるので、なくてもわかると思った。目標管理項目も、目標管理というのを表の上のほうに入れ込んだらカッコをわざわざつけなくても良いし、工夫ができると思ったがいかがか。

事務局

基本目標 1 のところにゼロカーボンが初めて出てくるので、目標 1 をつなげてから書くほうが良いというのが事務局の案である。

委員長

これは実際のところの難しさというか、要するに先ほども問題となっていた区域施策編と

いうのは地球温暖化防止実行計画であり、だから環境基本計画の中にどうはめ込むというのを事務局は苦労されたと思う。ただ概要版のため、むしろ市民への分かりやすさを重視した書き方をされるのが良いと思う。具体的にここはこっちに持って行ったほうが良いという案があると思うが、市民の目から見て分かりやすいのが一番だと思う。例えば1点だけだが、4ページの柿色枠の部分を少し前に持ってくるとか、基本目標1のかなり早い段階に表すなど1つできるかもしれない。難しいが事務局でやっていただくことになる。

事務局

分かりました。もう一度業者の方とも相談して編集を考える。

委員

「ゼロカーボンシティの実現を目指して」が最初に来て、基本目標12とつなげたほうが見やすいと思う。

委員長

今のご発言を参考にしながら再度ご検討いただくということでお任せするがよろしいか。他はいかがか。

委員

基本目標1の写真で、学校で育てられたグリーンカーテンの写真が載っているが、ほかにないのかと思った。例えば太陽光発電設備の導入件数を目標に挙げているからその絵を持ってくるなど、向日市ですごいことをやっていることが分かるものを入れてほしい。

事務局

検討する。

委員

関連あるものを基本的には載せるべきだと思う。5ページであつたらごみ収集車の写真とごみ排出抑制、再利用、ごみの収集とは関連すると思う。その下の図であっても歴史を表す写真を載せていて、これは関連すると思う。そう考えると3ページの指標を見ると、ここは本文のどれと関連するのか疑問である。

こういった基本計画の概要版といった冊子を作るときにSDGsという言葉が出てくるが、基本的にその用語の説明は載せないのか。ほかの市のやり方を参考にすればよいと思うが。

事務局

正直言って載せるべきだと思いつつも、8ページで作るという制約があったので、今のこれで精一杯だった。

委員

5ページの下の方にあるが、河川水質(BOD・SS)と書かれているが、用語説明がないと見てわからないと思う。概要版だけ見てBODやSSが何であるかは伝わるようにしておくべき。

事務局

追加させていただく。

委員長

私からもよろしいか。随分議論を重ねてきたので、すでに議論されたような記憶もある。5 ページの下の環境基準達成状況の中で大気が現状 100 で未来も 100 という書き方になっているが、これはすでに達成しているのを達成し続けるという理解でよろしいか。あるいはもう終わっているから外していいことになるのか。

事務局

これは毎年測り続けているもののため、100 をキープし続けなければならないと考えている。

委員長

了解した。他はいかがか。

委員

ゼロカーボンシティというのが、一般の方、お年寄りの方にはピンとこないと思う。このような場に出席される方は当然わかるが、何かわからないのが一般的だと思う。そういう方にゼロカーボン、ゼロカーボンシティということをもう少し詳しく説明なりを載せるほうが浸透しやすいと思う。ゼロカーボンシティを題目に挙げたら何のことかわからないと思う。

事務局

この環境基本計画の中で初めてゼロカーボンシティという言葉を入れているのが問題だと思う。ただ、10 月 1 日に向日市がゼロカーボンシティ宣言をしたので、この計画とは別のところでどうやって皆さんに広めていくかということで、どういう媒体を使って広め始めていくか検討していきたい。

委員長

脱炭素社会と日本語で書いたほうが分かりやすいか。例えば柿色枠の 1 行目のところに脱炭素社会の実現と書いてあるが、そのあたりがもう少し近い位置にあると分かりやすいと思う。ご検討いただきたい。他はいかがか。

委員

それでは脱炭素社会と大きく書いて、(ゼロカーボン)のように並べれば、分かりやすいと思った。

委員長

キーワードは非常に重要であるのでよろしくお願いします。他はいかがか。

副委員長

概要版に URL や QR コードを載せて誘導するようにできると思う。これはあくまで概要版でさらに読みたい人はこちらからという形にしたほうが、もっと見てもらえると思う。

委員長

QR コードから飛んでいけることも当たり前になりつつあるので、そういう工夫をしていたらと思う。他よろしいか。

委員

重点プロジェクトの 7,8 ページの書き方だが、例えば①むこう 共生のまちプロジェクトの取組によって期待される効果が緑の四角であり、取組内容、取組成果、取組効果と 3 つあるが、内容をもっと具体的に書いてほしいと思った。プロジェクトというとな何をするのかすごく気になるし、省エネの普及推進、公園緑地の整備とあるが、プロジェクトがもう少し想像できるように書いてほしい。まだ決まっていないから書けないということか。

事務局

本編には取組というのが細々と書かれているが、このような形に絞らせていただいている。ご意見としては参考にするが、案としてこのような形で考えている。

委員長

たくさん書きたいけど書けないという難しい状況で、このような表現になっているということである。盛り込みたい情報がたくさんあるので、どこまで切るかを事務局は悩んでいるのだと思う。

委員

たくさんありすぎて書けないのは、すごくうれしいとは思いますが、共生のまち、人と環境が共生するゼロカーボンシティといってもイメージがわからないので、イメージ図や写真などがあるとよいと思った。

事務局

基本的にこの主な取組のところは、今まで基本目標 1, 2, 3, 4 と掲げているが、1 も 2 も 3 も 4 もやっていけば共生のまちが出来上がっていくというイメージで書いているつもりである。先ほどのお話は、それが少し見えにくいということか。例えば①むこう 共生のまちプロジェクトで言うと、省エネ推進、再エネ普及、公園緑地の整備と書いてあるが、上の 2 つは基本目標の 1、下のほうは基本目標の 2 のところから抜粋している。それをやると真ん中に書いてあるような取組、さらにこういったことが起こるとということが白い部分に書かれているというイメージで作っているつもりである。

委員

①も②も SDGs のマークがそれぞれ入っているが、小さくて見えないのでここに入れる意味はあるのか。

委員長

ここに SDGs のマークが必要かという意見である。いかがか。

事務局

ここについてはトレンドといえばトレンドだと思っている。ただ先ほどあったように SDGs の前段で説明があれば数字が書いてあるので、その数字で 1 番や 2 番だと分かって前段で詰めてくれれば、こちらが小さくてもわかるかもしれない。しかし今それが無いというところでは、正直入れないほうが良いと思うが、このマークを見ればわかってもらえる時代が今後来ることを期待して、入れさせていただいている。

委員

今のところで真ん中の薄緑色部分のエネルギー地産地消の推進というのは、本編に引っ張った時にも同じようになっていて、地産地消をどこでどのように賄うかという具体的な話はどこかに書いてあるか。

事務局

重点プロジェクトというような形で書いているが、取組については基本目標 1 の環境配慮指針に細かく書いているつもりである。例えば本編の 42, 43 ページで太陽光を導入するであるとか、これをやっていけばエネルギーの地産地消の推進につながると書いているつもりである。

委員

これは向日市内でということか。例えば京都府全体でという広がり方は考えていないか。

事務局

あくまでこれは環境基本計画のため、方向性をまず示しているというご理解をお願いします。ただ、向日市が小さくてメガソーラーといったものがやりにくいのは十分わかっているので、今後地域と連携して俗にいうオフサイトPPAという手法などを取り入れて、考えていきたい。細かいことについては、今後計画に則って施策を考えていくととらえていただきたい。

委員

この基本計画と関係なく希望としての話だが、この間の市民アンケートの結果を終えて、市民プールが復活、建て直すという話になりそうである。太陽光発電を利用してプールを運営していくことや、京都のアクアリーナは全体に緑がたくさんあって二酸化炭素削減になるし、これから作るものに対してそういったことを行っていけないかと思う。この新しい市民会館は太陽光発電など、どのようであったかお聞きしたい。

事務局

温水プールについては各所管に脱炭素を目指すということで市長から、環境部局だけでなく全部局の幹部職員に話が出ている。そのため部局間でしっかり話し合っ、進めていきたいと思う。もう 1 つ市民会館のほうについては、市役所と同じように省エネ構造で出来上がっている。太陽光も整備が進められていると聞いている。

委員長

そろそろご意見この辺りになると思うが、よろしいか。非常に悩ましいと思うが、やはり市民に触れるととても大事な資料になっているので、そのあたりを今日のご意見をいかしながら反映していただきたい。

委員

毎年度年次報告書として取りまとめ、報告を行うのは前の第2次計画の時にはなかったか。今回これを行っているということか。

事務局

今回この計画を立てていくときに、環境推進会議を立ち上げて行っているとうたっていて、それを来年度以降もやっていく。前回までは正直あったはずだが、断ち切れてしまっているという状況である。

委員長

PDCA をきっちりと確認しながら進めていくという考えのようである。他はいかがか。

副委員長

本当に細かいところで申し訳ないが、7ページ目の向日市のピクトグラムのところ、SDGsの2番の次が6番だと思う。水の重複が2つあるので、置き間違いだと思う。

委員長

2番の次が15になっているので、15が2回出てきている。

副委員長

おそらく6だと思う。それが1点と、2ページのうるおいの表や気候変動、循環型社会の次のところ、あるいは絵の中の基本目標の前にアスタリスクがあるが、これが本文中では何を意味しているか分からない。どのような意味か、教えていただければと思う。

事務局

副委員長がおっしゃったのは、気候変動の※、下の循環型社会の横の※の意味のことか。

副委員長

あとは絵のところ。

事務局

ミスなので、削除させていただく。

委員長

全体ではまだご意見あると思うが、一応この辺りで資料3まで入れさせていただいたということではよろしいか。それでは、本日の議事については以上をもって終了とさせていただく。最後に先ほどもこの資料から外れるという意見があったが、そういうことでも結構だが、何かご意見があったら挙げていただきたいが、いかがか。この基本計画策定以外のことでも結構である。

委員

太陽光発電は新築のところという話だと思うが、既存の建物に後付けする場合、補助のようなものはあるのか。

事務局

現在のところ既存の家に関わらず、蓄電池と一緒に太陽光発電を付けていただくことについて、補助を行うとしている。

委員

本編は縦書きだが、資料3の柱の中の文字が横書きで少し見えにくい。もう1点、概要版で

は西暦と元号が混在している。西暦（元号）で書かれている部分があるので、それに統一すると分かりやすい。さらにもう1点、数値指標目標の2021までの経過を1回前でもよいので、書いていただけたら分かりやすいと思う。

委員長

少しご指摘いただいた。また参考意見として、修正すべき部分あると思うのでよろしく願います。

委員

概要版で難しい言葉を使うのは仕方がない。この言葉はどういう意味かと、それをきっかけに興味を持ってもらえれば。あと、ゼロカーボンシティをメインにするのか、環境基本計画をメインにするのか、分かりづらい。基本計画をメインにするのであれば、ゼロカーボンシティをそこまで大きくする必要はないと思う。

委員長

大事なご指摘である。またご検討いただければと思う。

委員

申し訳ないが、本編のところで1つ付け足してよろしいか。開いて目次のところで、第4章の基本目標1,2,3,4とあるが、ここにタイトルが欲しい。プロジェクト名が書いてあるので、「気候変動対策を推進するまち」など、目標のところも書いていただきたい。

委員長

目次のページの基本目標の後に文言があるといいのではないかという意見である。

委員

細かい点はないが、全体的にグローバルに沿った話ができたとと思う。気候に対する影響と気候に対する適応というのがグローバルの流れになっているので良いと思う。リサイクルも企業間では大きな流れになっていて、そういう計画になっていると思う。

委員

資料編 1 ページに名簿が載っている。途中から入れ替わっている方もいるだろうが、私の場合だったら今月末で任期ということではよろしいか。

事務局

はい。この計画が策定されるまでが今回の策定委員会の任期である。

委員長

あと、20日ほど責任があるのでよろしく願います。

委員

資料3の4ページ上のオレンジ色で囲まれているところの1個目の・の後半に、脱炭素社会の実現に向けてとある。またすぐ下に2020年ゼロカーボンシティの実現に向けてとあり、同じような文言が並んでいるので、最終版を作るときに確認していただきたい。

最後の8ページだが、上の四角が3つ並んでいるところの真ん中の薄緑色の部分だが、計画の効率的な推進が中途半端に改行されているので、確認していただきたい。

委員長

1行で表したらどうかということである。

委員

短い期間でこれだけまとめ上げるのはとても大変だったと思う。概要版の扉が会議資料みたいである。SDGs がどこにどう繋がっていくかを詳しくここで説明できないと思うが、例えば扉付近にSDGsの17個の目標をうまくレイアウトして扉に書いてあるのと同じ色で視覚に訴えることが、より理解を深めていただく中で重要だと思う。先ほどのゴーヤのカーテンも単に植物を載せるだけでなく、きちんと視覚に訴えて幅広く認識してもらえるような資料にしていればと思う。特に資料3は工夫次第で8ページのうち1ページがうまく使えると思う。SDGsという言葉は学校で教育されているので意外と知っている。学校や教育委員会とうまく連携して環境教育を進めたら、子供のうちから環境に対する意識が芽生える。その子供たちが大人になって、それが当たり前になっていく。そのためには持続的に学校教育と連携して意識を育てていくことを期待している。それで教育のためには資料を工夫する必要がある。概要版でも小学生向け、中学生向けというものもあるし、みんなが資料を見ようとか、手に取って読み進めようと思わせるために、知恵を絞りながらしていただければと思う。これだけの資料を作ることは大変だったと思うが、これからさらに前進するように期待している。

委員

教育は今後も大事だと思うが、教える側の教育はもっと大事だと思う。教える側が義務として教えているのでは熱量が違うので、伝え方が全く変わってくると思う。市職員はきちんとしなくてはならないが、教える側をどう教育していくかをきちんと筋道立てて今後計画で行っていくということがあれば、より明確になると思う。

委員長

とても貴重な意見である。今日残念ながら校長の村上先生がご欠席で、今の話を聞いていただけないかと思うので、伝えていただきたい。

委員

明日小学校が運動会で、おそらくすごく忙しくて欠席だと思う。先生方もとても忙しいので、教える側の教育ではなくて、専門家が現場に行けば子どもたちの受け止め方も違ってくるだろうから、外部講師をどんどん活用していくとよいと思った。

委員長

他にいかがか。

委員

この場をお借りして委員の皆様にはお礼と感謝を申し上げます。議論が尽きない会議で私たちも勉強させていただいているし、事務局の資料が遅れるなどご迷惑をかけたにも関わらず、皆さん温かく見守っていただいて計画の最終詰めまで来られたことを感謝している。10月1

日には、市制施行 50 周年という記念すべき日にゼロカーボンシティ宣言ができたことをこの上なく嬉しく思っている。これを契機に基本計画も 10 月に策定して、これが最後ではなくてこれからが本番なので、皆様のご意見を大切に、全庁挙げて市民や事業者の皆さんにご協力いただきながら頑張っていくので、今後とも見守っていただきたいと思います。ありがとうございました。

委員長

この計画を機に、これからいろんな意見が出てくると思うが、それらは PDCA を回していくうえでしっかりと反映させながら意味のあるものに向けていただきたい。

6 回の策定委員会だったが、ご協力いただいてありがとうございました。それでは私のほうからこれで終わって、事務局に戻します。

3. その他

事務局

その他として、計画の表紙のご案内をさせていただく。資料に添えているのが、概要版の表紙になっている。本編の表紙もイラストになっていて、向日市在住の方にイラストをお願いしたところ、快く引き受けていただき、本計画のために書いていただいた。向日市らしさを前面に出した感じになっている。10 月末の完成を目指して進めているところであるが、皆様のお手元にお渡しできるのはもう少し後になると思う。たくさんご意見いただき、ありがとうございました。

4. 閉会

委員長

最後に、今日たくさん意見が出て、修正すべき点も多くあったが、それについては事務局と岩渕先生と私のほうで見させていただいて、ご一任いただければと思う。本日はこれで終了とする。ありがとうございました。

以上